

兵庫県保険医協会神戸支部 第43回総会・記念講演のご案内

抗菌薬の考え方、使い方 —コロナの時代の差異—

日時 10月15日(土)14時30分～16時30分(総会議事14時30分～、記念講演15時～)

会場 兵庫県保険医協会 会議室

講師 神戸大学医学部附属病院 感染症内科教授 **岩田健太郎** 先生

会場定員 50人 参加費 無料 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、必ず事前にお申し込み下さい。記念講演はオンラインでの視聴も可能です。

昨今の新型コロナウイルス感染症のパンデミックは我々医療関係者にとって、ワクチンを含めた感染症対策を改めて考え直さなければならない事態となりました。サル痘という新たな感染症も出てきて、医療現場は混乱しております。今回の支部総会・記念講演は、今年4月に発行されました岩田先生御自身の著作『抗菌薬の考え方、使い方 ver.5 コロナの時代の差異』に沿ったものです。本の内容はなかなかボリュームがあり、抗菌薬使用のノウハウが詰まっております、先生御自身が本の中で、怖くないので、端折らずにゆっくり読んで下さいと書いておられる通り、一朝一夕には読み終え、理解するには少々難易度が高いかもしれません。この講演会では、コロナによって空白となってしまった感染症学、中でも抗菌薬の使い方、考え方を理解しやすく御講演して頂けるものと思っております。対象はドクターですが、医療従事者の方々もためになる必聴の講演会です。現場だけでなくZoomでも参加できますので是非、ご参加下さい。最後に先生の本の帯に書いてある文章を書き記しておきます。『コロナに気を取られて勉強を怠っていると、時代に乗り遅れますぞ。』(神戸支部長 田中 孝明)

*お問い合わせは TEL 078-393-1807 神戸支部担当 小西・楠まで

【神戸支部総会来場参加申込】 FAX 返信:078-393-1820

・総会議事(14時30分～) 参加 不参加(議事的一切を議長に委任します)

・記念講演(15時～16時30分) 参加()人 不参加

地区 _____ 医療機関・施設名 _____

お名前 _____ TEL _____ FAX _____

【オンラインによる参加の申し込み】

右のQRコードもしくは下のアドレスから前日までにご登録をお願いします。



<https://bit.ly/3S9isFI>

兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

359号
2022年9月25日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

オンライン資格確認義務化は中止を

医師・歯科医師署名に切実な声

「患者も医療者も求めている」「義務化は撤回を！」—。政府がオンライン資格確認の来年4月からの原則義務付けを示したことに對して、協会が撤回を求めて行っている医師・歯科医師署名。9月9日までに、FAXとオンラインで医師・歯科医師385筆の署名が寄せられ、「私の一言」欄には、撤回を求める会員の声びっしりと書き込まれている。神戸支部の会員から寄せられた声の一部を紹介する。



9月初旬に会員医療機関に FAX 送信した署名用紙

- ・導入した施設でトラブルが多発して職員に負担を強いています。短時間での対応はとても困難です。(北区・医師)
- ・カードリーダーを普通を使用する場合、現在の電子カルテでは接続できず、新しい電子カルテを再度購入しないといけないようで100万円単位の機械が必要でとても補助金では足りません。これだけのために更新するにはあまりにも高額です。(須磨区・医師)
- ・国家権力の横暴を許すな！(北区・歯科医師)
- ・マイナンバーカードそのものに反対です。(北区・歯科医師)
- ・マイナンバーカードの交付状況も50%にも満たない状況で、保険証をなくしてしまうのは現実的ではない。国民が求めているから普及しないのだと思う。(西区・医師)
- ・個人情報の安全性が十分に担保されず国民の便宜より政府による国民把握をねらうマイナンバーカード制度の普及につながるオンライン資格確認システムの導入義務化に反対する。(東灘区・医師)
- ・導入するには、また経費が掛かってしまうこと。正直、めんどくさいところもありますし、スタッフにも負担がかかるので、導入の義務化は撤回していただきたいです。

(垂水区・歯科医師)

※2面が署名用紙となっておりますので、まだの方はぜひご協力をお願いします

内閣総理大臣 殿
厚生労働大臣 殿
国会議員 各位

返信 FAX 078-393-1802

2022年9月
兵庫県保険医協会
理事長 西山 裕康
歯科部会長 加藤 擁一

オンライン資格確認のシステム導入義務化と 健康保険証の原則廃止の撤回を求める医師・歯科医師要請署名

8月の中医協で、「療養担当規則」により紙レセプト請求以外の医療機関等にオンライン資格確認を義務付けるとする答申がまとめられました。このままでは対応できない医療機関を閉院・廃業に追い込み、憲法で保障された患者の受療権を侵害することになりかねません。

オンライン資格確認の導入は、金銭的負担を医療機関に押し付けるもので、患者・国民の多くは、マイナンバーカードを保険証として利用することを望んでいません。

これまで同様、保険証は交付した上、マイナンバーカードの利用は任意とする形の方がはるかに簡便で合理的です。

私たち医師・歯科医師は、以下の事項を要望いたします。

記

- 一、医療機関等へのオンライン資格確認のシステム導入の義務化は撤回すること。
- 一、保険証はこれまで通り交付すること。

私の一言

住所：
医療機関名：
氏名：

オンライン署名は右のQRコードから！ →

右のQRコードから署名サイトにアクセスし、必要事項をご記入ください。入力1分以内に終わります。



東灘区社会保障推進協議会が総会

平和・社会保障充実の実現へ 不断の努力重ねよう

口分田真・支部幹事を会長に再任

協会が地域住民や商工団体などつくる東灘区社会保障推進協議会は7月28日、第23回総会を東灘区内でオンライン併用で開催。加盟各団体などから18人が参加し、2021年度まとめと2022年度方針案、会計報告が承認された。役員として、口分田真会長(兵庫県保険医協会神戸支部幹事、口分田玄瑞診療所所長)らが選出された。新年度方針として社会保障を前進させる運動や相談・学習活動の強化、新たなSNSの活用を含めた情報発信の強化を行っていくことなどが確認された。



「命を守るには平和あってこそ」と語る口分田支部幹事(右)と記念講演した深草元弁護士(左)

口分田会長は開会あいさつで、「参議院選挙の結果は、社会保障費抑制政策の転換が必要という私たちの訴えを知らせる取り組みが足りないことによるものだ。来年春には統一地方選挙があり、東灘区で私たちの訴えと一致する議員を当選させよう」「ロシアのウクライナ侵略に反対して毎朝スタンディングを始め、4カ月続けることができた。命を守るには平和あってこそ。侵略反対のアピールを続けていきたい」「社会保障削減政策を行ってきた安倍元首相は国難であり、『国葬』はありえない」とあいさつ。安倍元首相の「国葬」に反対し社会保障充実を求めるアピールを発表することを提案した。アピールは会場で承認された。

学習記念講演は、『9条とウクライナ問題 試練に立つ護憲派の混迷を乗り越えるために』(あけび書房)を出版したばかりの深草徹元弁護士が、ウクライナ問題からみえる日本国憲法の重要性について講演。深草氏は、憲法9条の精神について、第1項にある「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し」という文言は、日本国民は、国際平和を誠実に希求し、その確立と維持をめざし国際社会の先頭に立つために国家主権を積極的に行使することを宣言している積極的平和条項であり、国民が主体的努力をしなければお守りにすぎなくなってしまうと解説した。

そして、国際憲章に違反する侵略であるロシアのウクライナへの武力攻撃は、各国の覇権主義・軍事同盟に基づいた国連常任理事国制度のもとでは解決が困難であり、軍事同盟を解消し、国連改革を行って国際法・国連憲章に基づいて解決することが必要とし、日本国民はこの実現のために努力をしなければならないと訴えた。